

# 赤潮情報（2）

令和5年7月6日

各漁業協同組合長 殿

福岡県水産海洋技術センター  
豊前海研究所長

7月4日（火）に調査を行った結果、有害プランクトンの一種のシャットネラ属とカレニア ミキモトイの増殖が確認されましたが、着色は認められませんでした。

## 【結果】

○シャットネラ属の1ccあたりの最大密度は4細胞でした。

シャットネラ属は1ccあたりおよそ100細胞程度に増えると魚がへい死する恐れがあるプランクトンです。

○カレニア ミキモトイの1ccあたりの最大密度は12細胞でした。

カレニア ミキモトイは1ccあたり数千細胞に増えると魚がへい死する恐れがあるプランクトンです。

## <今後の対応>

○今後の天候や海況によっては、増殖することも考えられます。

○研究所では引き続き調査を実施しますので、今後の情報にご注意下さい。

※漁業被害、海面の着色などがみられましたら、

豊前海研究所(0979-82-2151、担当:恵崎、後川)までご連絡下さい。

# 漁場調査結果

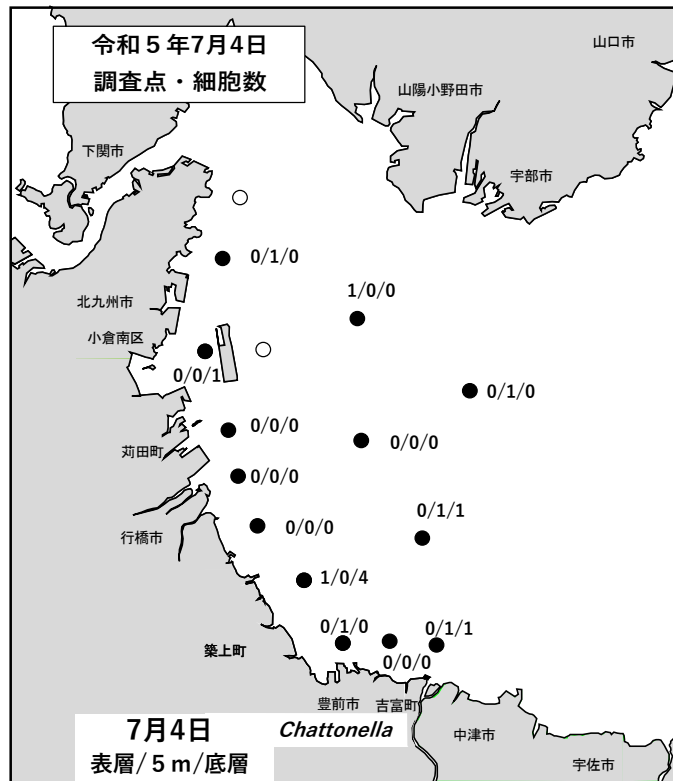


図1 シャットネラ属の細胞数（表層／5m層／底層）

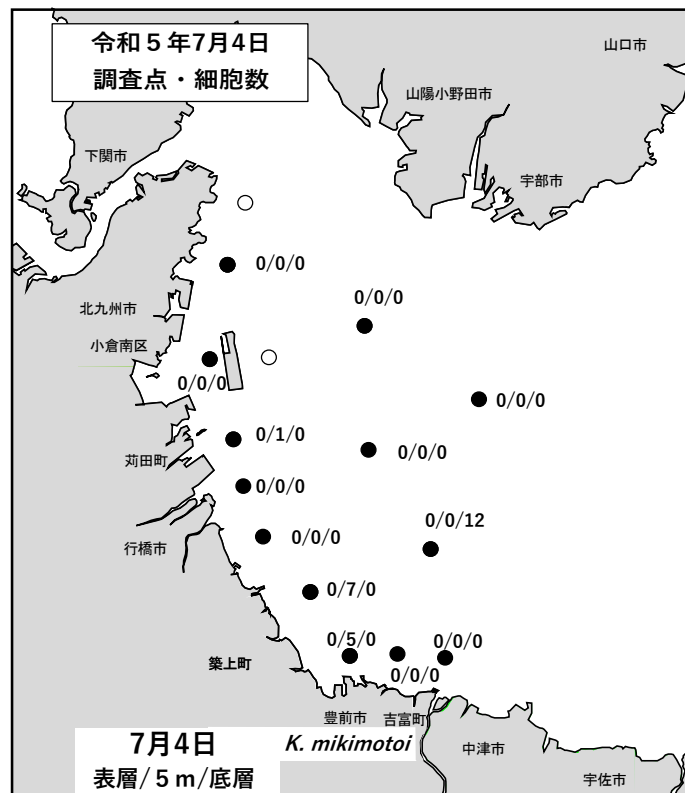


図2 カレニア ミキモトイの細胞数（表層／5m層／底層）